

まちかど

前立腺がん治療学ぶ

前立腺がんと最先端の放射線治療について学ぶ「かわさき幸・がんフォーラム」が20日、川崎市幸区の市産業振興会館で開かれ、約150人が聴講した。川崎幸病院(幸区)主催、幸区医師会共催、幸区後援。

講演では、東大病院放射線科の中川恵一准教授が前立腺がんについて「日本人は手術以外に放射線治療という選択肢を知らない」と指摘。痛みなく患部だけを照射できる最新の放射線治療に保険が適用され、治療内容にもよるが8万〜9万円で可能なことを紹介した。

米カリフォルニア大サンフランシスコ校泌尿器科の篠原克人教授は、米国では検査によって死亡率が減ったことを挙げ、早期発見のために血液検査(PSA検査)を呼びか

けた。
パネル討論では幸病院の医師らも加わり、聴講者を交えて意見交換や質疑応答が行われた。写真。



川崎幸病院

「がん検診を受診して」

フォーラムで訴える

川崎幸病院は9月20日、川崎市産業振興会館で「市民公開講座・かわさき幸・がんフォーラム」を開き、約150人が来場した。幸区医師会共催・川崎市幸区

当日は、前立腺がんと放射線治療をテーマに川崎幸病院のアドバイザーで東京大学医学部附属病院の中川恵一医師、アメリカのカルフォルニア大学サンフランシスコ校教授で間寛平氏の

で、今後前立腺がんは日本のがん患者割合で1位になると言われており注意が必要。初期症状もないので早期発見・早期治療のために、もがん検診を受けてほしい。治療法の選択肢も広がってきており、その中でも放射線治療は体への負担が比較的少ない治療法だという。その後、パネルディスカッションも行われ、前立腺がんの有力な検査法の1つPSA検査の信頼性や放射線治療の効果などについて丁寧話しをした。

前立腺がんの治療を行った篠原克人医師が登場。近年、がん

同病院では「今後もこうした講演会を通じて、地域のみなさまに健康に関わる情報提供を行っていきたい」と話している。

患者の割合が増えている前立腺がんの原因や検査方法、治療や予防までをデータを交えながら話をを行った。

同病院は、かわさき健康塾という健康講座を市内各地でほぼ毎日実施している。同がんフォーラムはその一



前立腺がんの現状について話した

の欧米化など

環。

講演による生活習慣